

## 第9期（2024年度）事業計画骨子

### 主な施策)

#### 1. 症例登録の活性化

- ・皮膚科医の臨床研究サポートの推進（成分パッチテスト仲介、分析仲介）
- ・症例登録数上位の医療施設への謝礼品（フィンチェンバー）送付の継続
- ・医学研究の立ち上げサポート

#### 2. 賛助会員の勧誘

- ・成分提供に協力いただいた非賛助会員企業へのアプローチ
- ・関係機関のご支援の下で SSCI-Net 周知活動を継続  
（日本化粧品工業会主催セミナー、関連学会での紹介、雑誌投稿による紹介等）
- ・賛助会員企業に対する、SSCI-Net 関係者内に限定した医療施設紹介制度の広報
- ・ホームページの Top 画面を入会希望企業や症例登録希望医師に対して、情報にたどり着きやすいように改修

#### 3. 行政および各種団体による安全性向上活動への貢献

- ・厚生労働省『消費者製品に含まれる化学物質による健康被害症例情報収集業務』の受託を継続
- ・金属によるアレルギー性接触皮膚炎について、登録促進のため希望する医療施設にニッケルスロットテスターを配布
- ・NPO 法人日本ネイリスト協会へのネイル関連での皮膚障害症例発生状況の情報提供（受託）の継続

#### 4. 仕組みの進化

- ・成分パッチテスト用試料条件について、過去の濃度/媒体実績をまとめてデータベース化
- ・日本化粧品学会「成分パッチテスト推進部会」との連携
- ・日本化粧品工業会「安全性部会 アレルギー低減 WG」との連携

#### 5. データ活用の促進

- ・アレルギー性接触皮膚炎登録状況の年間まとめは、SSCI-Net より皮膚科医の理事または理事に日本皮膚免疫アレルギー学会および日本化粧品学会での報告を依頼。
- ・データ活用ルールを作成し、ホームページで公開